

公開講演会

主催 上智大学哲学研究科

連絡 哲学研究科委員長室 03-3238-3806

日時 2010年11月25日(木) 17:00-18:30

場所 上智大学7号館3F 哲学科共用室

講師 林 晋 (京都大学文学研究科教授)

演題：「数理哲学」と「種の論理」

—田辺元の哲学テキストの生成分析

[内容]

林晋教授は数年前から日本論理学史の一環として「京都学派の論理」(西田, 田辺, 三木等)を研究され、2009年度は「種の論理」の成立・発展過程の解明のために、京大・群馬大所蔵の田辺元文庫史料、手帳・講義準備メモについて詳細な文献学的分析を遂行されました。その結果、田辺元の〈種の論理〉の成立に数学基礎論の直観主義が与えた深い影響を一次資料を通して発見され、従来着目されていなかった「新カント派的数理哲学としての種の論理」という田辺元の哲学の重要な側面を解明されました。林晋教授のこの最新の研究の一端を、このたび上智大学哲学研究科にて特別講義として披瀝していただきます。

[参考文献]

林晋 「数理哲学としての種の論理—田辺哲学テキスト生成研究の試み(1)」

京都大学日本哲学史研究室紀要第7号(2010年9月)所収

岩波文庫 田邊元哲学選集第一巻(藤田正勝編)「種の論理」(2010年10月刊行)

岩波文庫 不完全性定理(ゲーデル著・八杉満利子・林晋 訳と解説)

Paolo Mancosu, From Brouwer to Hilbert ---The Debate on the Foundations of Mathematics in the 1920s (Oxford University Press 1998)